

第32回 全九州中学生バスケットボール春季選手権大会 沖縄大会

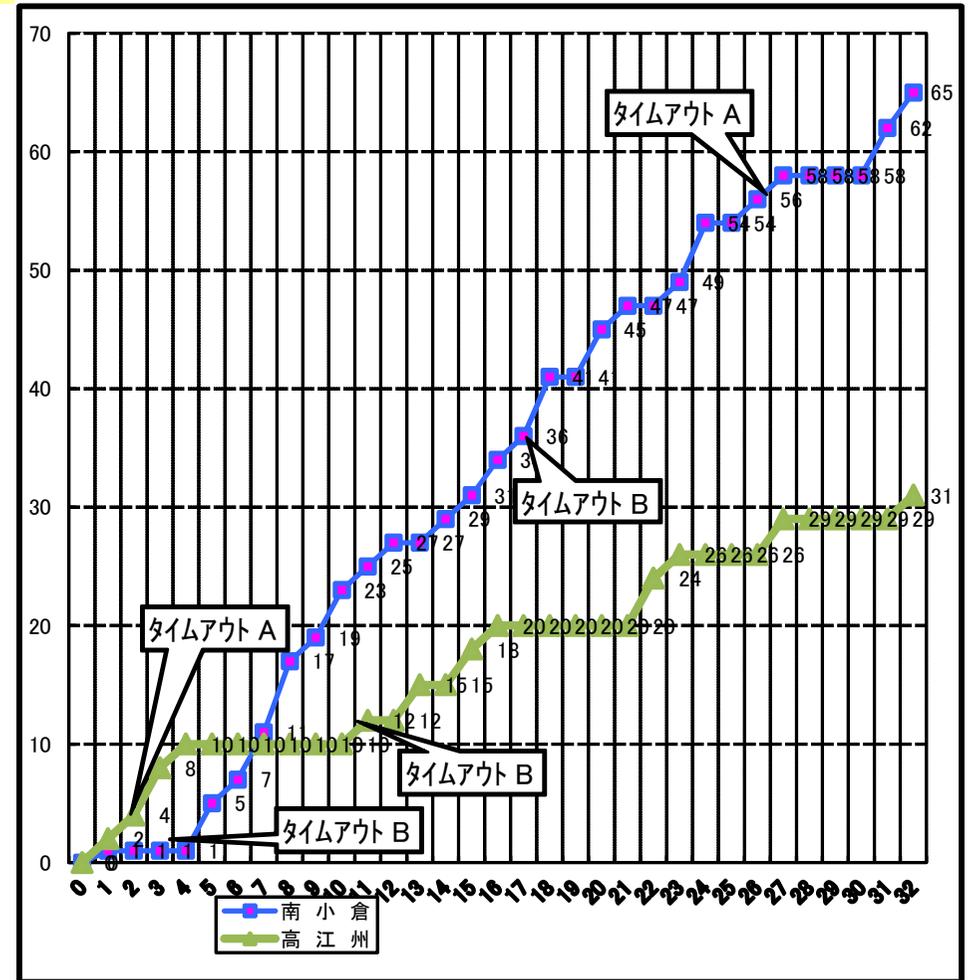
ボックス・スコア

女子 準決勝

試合日：平成24年3月18日(日)
 開始時刻：9:30
 会場：奥武山運動公園武道館
 コート：Aコート
 試合順：第1試合

Team A		Team B
南小倉	65	31
(福岡2)		(沖縄1)

【得点推移表】



Team A : 南小倉(福岡2)

No.	S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F	備考	
				M	A	M	A	M	A		学年	身長
4												
5		井ノ上 瑠莉	—								1	155
6	⊗	廣門 綾香	0								2	160
7												
8												
9	⊗	笠井 桜可	2			1	6			4	2	170
10	×	岩田 桃佳	0								1	150
11	⊗	萩原 春乃	34		2	14	25	6	6		2	160
12	⊗	青木 知佳	12	2	8	2	6	2	2	2	2	160
13	⊗	内尾 聡菜	17			7	14	3	6		2	173
14												
15												
16			—									
17			—									
18			—									
Team/Coach:		木村 透	—	—	—	—	—	—	—	—		
合計			65	2	10	24	51	11	14	6		
			RATE	20.0%		47.1%		78.6%				

Team B : 高江州(沖縄1)

No.	S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F	備考	
				M	A	M	A	M	A		学年	身長
4	⊗	屋 宜 ももこ	3	1	4		4			1	2	151
5	⊗	山崎 友華	14			7	10			1	2	163
6	⊗	知花 梨乃子	3	1	2		1			1	2	156
7	⊗	平得 碧望	5			2	10	1	2	4	2	168
8	⊗	安慶名 洋瀬	6			3	9			3	2	164
9		喜友名 星花	—								2	151
10		山城 優月	—								2	156
11		富村 祐衣	—								2	156
12		宮城 樹乃	—								2	150
13		平良 藍花	—								2	164
14		島袋 香紀	—								1	152
15	×	山口 玲未	0		2		4		2	1	1	154
16		川上 ひなの	—								2	150
17		吉里 沙弥	—								2	163
18		森根 稚遥	—								1	165
Team/Coach:		新城 清美	—	—	—	—	—	—	—	—		
合計			31	2	8	12	38	1	4	11		
			RATE	25.0%		31.6%		25.0%				

【戦評】

Q1、南小倉のボールでスタート。高江州#5山崎のリングしたシュート。南小倉#13内尾のフリースローで始まり、両チームハーフコートマンツーマンのディフェンスで高江州#5山崎が連続ゴールを決めた高江州9対1でリード。南小倉1回目のタイムアウトをとる。高江州の激しいあたりのディフェンスから速攻へとつなげる。しかし、ファウルが重なり、残り3分30秒、高江州もタイムアウトをとる。その後、南小倉3-2のゾーンディフェンスに変える。オフェンスでは#13内尾にボールを集める。その後、南小倉は、ハーフの1-2-2プレスから、ゾーンの3-2のディフェンスで流れをつかむ。その後、南小倉が逆転する。さらに、#11萩原#13内尾の連続シュートで17-10で南小倉リードで終了。南小倉のハーフの1-2-2プレスに高江州、攻めあぐねる。南小倉は#11萩原を中心に、連続の速攻が決まりだし、#11萩原を中心に、落ち着いたゲーム運びをする。高江州は、南小倉の#1-2-2のプレスを崩せず、リードをゆるす。残り4分で27-12と点差を広げられる。その後も、高江州は単調な攻めとなり、2Qを南小倉14点リードで前半終了。3Q、南小倉のスローインからスタート。両チーム、ハーフコートマンツーマンで対抗する。両チーム一進一退の攻防が続くが、高江州のシュートミスとは反対に、南小倉は#11萩原を中心に確実に加点し、リードを広げる。高江州は#7平得#8安慶名のリングしたシュートで、応戦するが、南小倉の落ち着いたプレーに、点差を縮めることができず、54-26で3Qを終了。4Q、高江州のスローインからシュートを狙うが、24秒で相手ボールや、南小倉#11の萩原カットインシュートをとめきれず、さらに点差が広がる。両チームミスが目立ち、硬着状態が続くが、高江州も得点を縮める打開策もないままに、一方的な南小倉のペースでゲームが進む。南小倉は、チームメンバー6名というチーム事情から、決勝を見据えた#11萩原を中心に、スタミナ温存のゆっくりとしたゲームを進め、最後までよくまとまったチーム展開を繰り返し大量リードで終了。

主審 津田博夫

副審 森田将史

記録 安里 泰憲